



# 営農サポート通信 第13号

平成25年2月 営農企画室：営農サポーター（TAC）



2月に入り、まだまだ寒暖の差がありますが、春に向かって草花は元気に生長しようとしています。大切な作物の生長に合わせて、皆さまにとってやっかいな雑草も伸びてきます。そこで、今回のサポート通信では除草対策についてお知らせいたします。



## 《皆さんが良く使用される除草剤の特徴》

### ① 土壌処理剤（雑草が生える前に土表面に散布し、発芽を抑える）

- ・土壌が乾燥しているより水分を含んだ状態で散布した方が効果大。
- ・散布後、土表面に処理層が作られるので、処理層を壊さないように後退で散布する。

- ・**ゴーゴーサン乳剤 30** →（規格：500cc／価格：2,184円）
- ・**デュアルゴールド** →（規格：250cc／価格：2,940円）

### ② 非選択型の茎葉処理剤（雑草の茎や葉の表面から吸収され枯らす）

- ・すべての作物に対して効果があるので、雑草以外に飛散しないように注意する。

- ・**プリグロックスL** →（規格：1リットル／価格：1,500円）
- ・**バスタ液剤** →（規格：500cc／価格：1,922円）
- ・**ラウンドアップマックスロード** →（規格：500cc／価格：1,838円）

### ③ 選択型の茎葉処理剤（雑草の茎や葉の表面から吸収され枯らす）

- ・作物の種類によって効果が変わるので、作物の生育期でもほ場全体へ散布が可能です。（例えば、ナブ乳剤やポルトフロアブルを甘藷畑で全面散布しても甘藷は枯れない！！）

- ・**ナブ乳剤(イネ科)** →（規格：500cc／価格：2,793円）
- ・**ポルトフロアブル(イネ科)** →（規格：500cc／価格：1,995円）
- ・**ロックス水和剤(広葉)** →（規格：500cc／価格：1,890円）

※上記、農薬の価格は当用価格です。予約購買されますとさらにお得ですよ！！

## 加工馬鈴薯



### ◆ **ゴーゴーサン乳剤 30**（他の登録作物は、里芋・ねぎ）

- ・散布の適期
  - ①馬鈴薯の植付け直後、パスライトを張る前の雑草発生前に散布して下さい。
  - ②雑草の発生を40～60日間、長期間抑制します。
- ・使用要領
 

水500リットルに対して本剤を、1～1.5リットル混合する。  
（20リットルの噴霧機に、40～80ccを混合する）

## 甘藷

### ◆ **プリグロックスL** と **デュアルゴールド**（他の登録作物は、人参・らっきょう・生姜）の混用で、①生育中の雑草を枯らし②発生前の雑草抑制の2段階除草は省力的です。

- ・散布の適期
 

プリグロックスLは、雑草が小さい時期（2葉～3葉）に効果を発揮しますので、早めの散布を心掛けましょう。
- ・使用要領
  - ①水500リットルに、プリグロックスLを3～5リットルと、デュアルゴールドを350～650cc混合する。（20リットル噴霧機に、プリグロ120～200ccと、デュアルゴールド14～26ccを混用する）
  - ②プリグロで生育中の雑草を枯らし、デュアルゴールドで発生前の雑草を抑えます。散布のタイミングによっては、1回の除草で済み、労力・コスト低減になります。

### ◆ **バスタ液剤**（他の登録作物は、人参・らっきょう・生姜・大根・馬鈴薯・ごぼう）

- ・散布の適期
 

5月上旬、甘藷のつるが伸長前（雑草が生え揃った時期の10cm程度まで）に散布する。
- ・使用要領
  - ①水500リットルに対して本剤を、1～1.5リットル混合する。（20リットルの噴霧機に、40～60ccを混合する）
  - ②速効性の農薬で散布後、二週間前後で効果が完成します。



### ◆ **ラウンドアップマックスロード**

- ・散布の適期
 

甘藷のつるが伸長前（雑草が生え揃った時期）に散布する。
- ・使用要領
  - ①水500リットルに本剤を、5～10リットル（100～50倍）を混合する。（20リットルの噴霧機に、200～400ccを混合する）
  - ②作物に飛散すると枯れるので、ラウンドノズル（泡状）を必ず使用する。

## 里芋

### ◆ **ゴーゴーサン乳剤 30**（他の登録作物は、馬鈴薯・ねぎ）

- ・散布の適期（馬鈴薯と同じです）
- ・使用要領
 

水500リットルに本剤を、1～2リットル混合する。



### ◆ **バスタ液剤・プリグロックスL**

- ・散布の適期（甘藷と同じです）
- ・使用要領
  - ①バスタは水500リットルに本剤を、1.5～2.5リットル混合する。
  - ②プリグロは甘藷と同じ。

※今回紹介した農薬の詳しい使用方法は、農薬のラベルを確認し正しく使いましょう。

（文書取扱：JA都城 営農企画室 事務所の電話番号は38-6693です  
営農サポーター（TAC）：猪俣、吉川、横山